

名前【 】

① 放置された竹林の増加を食い止めようと、甲南大学の学生有志が行っているプロジェクトを何といいますか。

[Blank box for answer 1]

プロジェクト

② 手入れされていない竹林はなぜ増えていますか。

[Blank box for answer 2]

を背景に増えている

③ 竹林面積が増えると周辺ではどんなリスクが高まりますか。

[Blank box for answer 3]

のリスクが高まる

④ 多くの人に竹に関心を持ってもらう切り口としてどんな食品の普及を目指していますか。また、その利点や実際に作った食品を書きましょう。

食品名 [Blank box]

利点 [Blank box]

食品 [Blank box]

⑤ 新しく竹林を利用する方法や製品を考えてみましょう。

[Blank box for answer 5]

官民連携のプロジェクト

放置された竹林の増加を食い止めようと、甲南大学（東灘区）の学生有志が、山から切り出した竹の消費促進に取り組んでいる。竹炭パウダーを使った商品を開発したり、会員制交流サイト（SNS）で発信したりする、名付けて「Bamboo（バンブー）」にThank you（サンキュー）」プロジェクト。官民と連携して今春に立ち上げ、11月末には学内に竹製の巨大なクリスマスツリーを設置して活動を周知している。（井上太郎）

手入れされていない竹林は、担い手不足や高齢化を背景に増えており、「整備」「消費」「認知」のサイクルを回すことで、竹林の荒廃防止を図る狙い。甲南大と神戸市、神戸版地域おこし協力隊、地域プロモーションの支援会社「神戸白黒」で構成し、学生は3、4年生6人が参加する。きっかけは、ともにメンバーで経済学部3年生の寺山恵一さん（21）西宮市と、文学部4年生の武藤彩葉さん（21）同市が昨年10月、別の課外プログラムに参加したことだった。国連が掲げる持続可能な

開発目標（SDGｓ）をテーマに高校生と大学生が地域課題の解決を考えていく催しで、須磨区を拠点に放置竹林対策に取り組むボラントピア団体と出合った。同団体のメンバーは平均75歳以上。寺山さんたちは竹は生命力が強く、「目を見張る速度で成長する」との説明を受けた。林野庁のまとめでは、2002年に15万6千杉だった日本の竹林面積は、12年に16万1千杉まで増加。周辺では農作物の鳥獣被害や土砂災害のリスクが高まるという。プログラムでは竹を切り倒す作業も体験し、

放置竹林 商品化で解消へ

甲南大の学生有志 竹炭パウダーで食品



「さらに輪を広げたい」 学内にクリスマスツリー飾りPR

竹製のクリスマスツリーを作って学内に展示している学生たち「東灘区岡本8